

	○事業の対象範囲、事業期間等の諸条件に関する提案 ○その他、事業実施にあたって行政に期待する支援や配慮してほしい事項	
④対話を希望する業種 ※該当する番号に○(複数可) 注)希望する業種の事業者の参加を確約するものではありません	1.設計 2.建設 3.ビル管理 4.金融 5.保険 6.不動産 7.運営 8.その他 ()	
2. 事業概要		
(1)基本情報		
①事業の種類 ※該当する番号に○(複数可)	1.新設 2.建替え 3.改修 4.管理運営のみ 5.公有地活用 6.包括委託 7.その他 ()	
②事業内容 ※事業の内容を簡潔にご記入下さい	平成27年5月、公共施設の再編により用途廃止となった「旧ふれ愛センター」エリアを中心に、西原自然の森全域について、民間事業者等の様々な活用の可能性を把握し、有効活用を図りたい。	
③現状及び課題	市街化調整区域にある約2万㎡の西原自然の森は、ふれ愛センターエリア、郷土資料館エリア、集会所エリアで構成されているが、用途廃止となった「旧ふれ愛センター」の具体的な活用方法が決まっていないことから、施設の利活用を検討していく必要がある。	
④前提条件	・旧ふれ愛センターエリアの土地・建物の一体利用を基本とする。 ・民間に土地・建物を貸し出し、民間主体による跡地活用であること。	
⑤事業スケジュール(予定)	平成31年 事業者募集、平成32年 事業開始	
(2)対象地		
①所在地(交通情報含む)	埼玉県南埼玉郡宮代町西原 289 番地 他 (東武スカイツリーライン姫宮駅から徒歩25分、東武動物公園駅から徒歩30分、東北自動車道久喜ICから自動車20分)	
②敷地面積	西原自然の森約2万㎡(旧ふれ愛センターエリア約1,4万㎡、郷土資料館エリア約6千㎡)	
③土地利用上の制約	市街化調整区域、建蔽率60%/容積率200%	
④所有者	現在は借地(30年度中に購入、宮代町所有となる予定)	
⑤周辺施設等	1km圏内に、小学校、中学校、高等学校、診療所、介護老人保健施設が立地	
⑥対象地周辺の一般的なイメージ	田園が広がり、農家住宅が点在する自然環境に恵まれた地域	
⑦その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		
(3)対象施設		
4-1. 建物	既存	整備後(予定)

①施設名称	旧ふれ愛センター	
②施設の延床面積	1,382.4 m ²	
③建物の構成(構造、階数)	RC造1階建	
④主な施設の内容、導入機能	本館、雑木林(竹林含む)、アスレチック広場、駐車場	
⑤運営状況 (運営主体、事業手法等)	用途廃止施設 ※開館時は直営	
⑥その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)	西原自然の森には、旧ふれ愛センターエリアの他に、郷土資料館エリア(本館、町指定文化財)、西原集会所エリアがある。	
4-2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後(予定)
①施設名称		
②規模、能力等		
③運営状況 (運営主体、事業手法等)		
④その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)		

■ 添付資料

- 1 位置図
- 2 敷地図
- 3 現況の写真
- 4 旧ふれ愛センター平面図
- 5 人口、年代別人口構成、昼夜間人口構成比率(平成27年国勢調査)